

学校教育目標	校訓「進取勤勉」 【学ぶ生徒】 【誠実な生徒】 【鍛える生徒】
目指す学校像	「人を愛し 学校を愛し 地域を愛し 愛される学校」 ～希望の登校 笑顔の活動 満足の下校～
重点目標	1 学力向上に関する取組 2 生徒の主体的な取組 3 地域とともにある学校づくりに関する取組 4 安心・安全に関する取組 5 教職員の資質向上に関する取組

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価		
年度目標							実施日令和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	【学びの質の向上に関する取組】 (現状) ○多くの生徒が学習意欲への意欲が高く、全学年ともに授業規律は整っている。 ○全教科、領域において「話し合い活動」を取り入れた授業を展開し、概ね充実している。 (課題) ○「話し合い活動」の成果を、一人ひとりの「主体的で深い学び」に結び付けられていない場面もある。 ○学力向上をねらいとし、「探究的な学び」の更なる推進を図る必要がある。 ○日々の教育活動において、安全についての意識を高め、広域的な安全教育のさらなる推進を行う。	・基礎学力の目指した授業実践 ・タブレットPCを活用した授業実践と研修会 ・生徒提案による活動の充実 ・避難訓練の充実 ・登下校の安全指導 ・心肺蘇生訓練の実施	①各教科の授業及び学級活動の話し合いにおいて主体的な話し合いが展開できるようスマイル委員会参加者を中心に事前指導を丁寧に行う。ミニ総会を充実させ、生徒総会を成功させる。 ②生徒自らが自分たちの学校生活に満足を感じる教育活動を実施する。 ③教科ごとに指導主事を招聘し、研究授業をもとに協議を行い、指導を仰ぐ。 ①避難訓練、引き渡し訓練及び通学路安全点検を実施する。 ②小学校と連携した心肺蘇生訓練の実施を行う。援を行う。	①学校評価「生徒はじしゃく」を意識して、意欲的に授業に取り組んでいますか」における肯定的な回答(教職員)が昨年以上(昨年%)とすることができたか。 ②学校評価「日進中は好き」への生徒の肯定的な回答が昨年同様(昨年90%)とすることができたか。 ③教科ごとの研修会が実施できたか。 ①学校評価B「通学路・登下校の安全は確保されているか」への肯定的な回答が昨年以上(昨年92%)					
2	【子どもの発達や心のサポートに関する取組】 (現状) ○「生徒の、生徒による、生徒のための学校」を確立するために「日進スマイル委員会」が組織され、機能している。 ○「心と生活のアンケート」の他に、学校独自の「いじめアンケート」を定期的に行い、生徒の悩みや変容に気付ける体制を構築している。 (課題) ○様々な理由で不登校傾向となっている生徒に対して、関係諸機関と連携し、支援していく。 ○SNSトラブルについて、継続指導を行う。	・生徒指導委員会教育相談部会の充実 ・校内の生徒指導・教育相談体制の充実 ・生徒が毎日の学校生活を楽しいと感じ、笑顔とあいさつのあふれる学校の実現	①「心と生活のアンケート」「いじめアンケート」の後の面談を確実に実施し、生徒の悩みや変化に気付く。また保護者への連絡も確実にし、必要に応じて面談を行う。 ②不登校傾向生徒の分析を行い、支援策を検討し、学校復帰につなげる。 ①生徒情報を基に、個に寄り添った生徒指導を実践し、一人ひとりの成長につなげる。 ②SNSトラブルやいじめに関して、弁護士を招いて講演会を実施し、規範意識の醸成を図る。 ③スマイル委員会のさらなる活性化を図る。	①学校評価「日進中は保護者や生徒の声に耳を傾けていますか」への肯定的な回答を生徒(昨年88.1%)、保護者ともに昨年同様(昨年88.9%)とすることができたか。 ②北教育相談室・あいばれっと教育相談室との連携は図れたか。 ①生徒指導委員会を毎週開催でき、管理職が参加できたか。 ②弁護士等、専門家を招いて講演会を実施できたか。 ③スマイル委員会の生徒が充実した取組ができたか。					
3	【地域とともにある学校づくりに関する取組】 (現状) ○目指す学校像「人を愛し、学校を愛し、地域を愛し、愛される学校」の確立に向けて、地域との連携を重視する。「日進七夕まつり」は毎年盛大に行われており、多くの生徒が参加させていただき、卒業生を中心として地域の方々にお世話になっている。 ○学年だより、学校だより、保健だより等の情報は「スクリレ」を通して発信している。 (課題) ○地域に対し、ボランティア活動等、参加できることや場をさらに増やし、地域に貢献する。	・地域とともにある学校づくりの実現 ・学校行事の充実 ・学校と地域が連携した取組の実現 ・学校の主役から地域の主役へ	①学校公開を増やし、生徒の日々の様子を保護者に見ていただく。 ②PTAとの連携を密にし、学校行事等、現状に即した改善策を講じ、昨年度より各行事等をよりよいものにする。 ③来年度が創立80周年となるため、記念式典に向けて準備を始める。 ①学校運営協議会において、様々な意見を頂戴し、学校運営に生かしていく。 ②「日進七夕まつり」へ多くの生徒が参加し、地域を盛り上げる。また社会福祉協議会等と連携し、生徒が参加できる場を増やし、地域の高齢者と交流を図る。	①学校評価の生徒アンケートにおける「学校を楽しんでいると感じていますか」への肯定的な回答が昨年同様85%以上(昨年89.1%)とすることができたか。 ②学校評価「積極的な情報発信」において保護者の肯定的な回答で、昨年同様の高評価を達成することができたか。(昨年97.6%) ③80周年行事に向けて具体的な準備が始まったか。 ①学校運営協議会において、学校と地域、PTAが連携し、実施する取組を策定し、実践することができたか。 ②地域と連携してこれまで同様、地域行事等に取組むことができたか。					
4	【教育環境の整備に関する取組】 (現状) ○施設の老朽化は否めないが、生徒は清掃を丁寧に行い、環境を整えている。樹木の管理が難しく、特にプールの衛生環境を保つのが厳しい。 ○一人一台端末が不足しているためすべての学級が同時にPCを使用することができない。 (課題) ○体育館・武道場・プールの裏側の樹木の大規模剪定が大きな課題である。 ○PCを効果的に活用すべく、学校DX委員会を中心に工夫し、できることを行っていく。	・整った教育環境の実現 ・確実な安全点検の実施 ・PCを効果的に活用した教育活動の実施	①月末の安全点検を確実に実施し、施設の破損については事務職員と相談し、速やかに修繕し、対応する。 ②校内の巨大化した樹木について教育委員会に相談し、適切に樹木剪定作業を実施し、環境を整える。 ①PC管理は学校DX部員を中心に行い、使えるPCを最大限活用し、教育効果を高める。	①学校評価「日進中は安全や安心な教育環境整備について、適切に取り組んでいると思いますか」への肯定的な回答を生徒昨年維持(昨年97.5%)、保護者昨年維持(昨年92.2%)することができたか。 ②樹木の伐採等、校地内環境整備を実施できたか。 ①「学びの指標」の「ICTの効果的な活用」の項目における数値が市の平均値2.93以上とすることができたか。					
5	【教職員のキャリア形成に関する取組】 (現状) ○キャリア段階に応じた研修を紹介しているが十分とはいえない。5月には市教委による指導訪問、管理職による当初面談等にて指導助言を行っている。 (課題) ○研修プラットフォームを活用し、キャリア段階に応じた研修を各自受講し、力量を高める。キャリア形成に合わせた研修の機会を増やしていく。	・「学ぶ教職員」として職務・キャリア段階に応じた研修を実施 ・校内研修の充実	①教職員に対し、打合せ時、職員会議等も活用しながら必要な情報提供を行い、自ら進んで研修に取り組む姿勢を醸成する。 ②当初面談の機会を有効に使い、個々に必要な研修を提案する。 ①夏季休業中の校内研修の機会を有効に使い、学校独自の課題やさいたま市教育が目指す方向性について研修を深める。	①「学びの指標」の「探求的な学び」の数値が昨年の平均値3.11以上とすることができたか。 ②研修履歴を活用し、一人最低1回は研修を受けたか。 ①学校評価アンケートB「学校課題研究は適切な取組が行われたか」の肯定的な回答が昨年同様90%以上(昨年90%)					